

## 1. 定積分 = 符号付き面積

前回、「定積分=面積」と学習したが、実は、これには重要な条件がある。

### グラフと軸の位置関係

「面積 = 定積分」となるためには、積分区間  $a \leq x \leq b$  において、 $f(x) \geq 0$  という条件が必要である。実際、次の例題のように面積計算の結果は負の値になることもある。

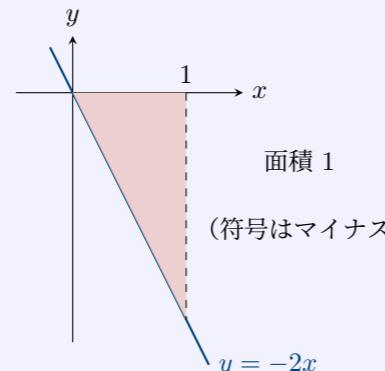
#### 例題 1

次の定積分の値を計算せよ。

$$\int_0^1 (-2x) dx$$

解答

$$\begin{aligned} \int_0^1 (-2x) dx &= [-x^2]_0^1 \\ &= -1^2 - (-0^2) \\ &= -1 \end{aligned}$$



#### まとめ

定積分  $\int_a^b f(x) dx$  は、

- $x$  軸より上の部分 … プラスの面積
- $x$  軸より下の部分 … マイナスの面積

として計算される。これを符号付き面積と呼ぶ。

#### 例題 2

次の定積分を計算せよ。

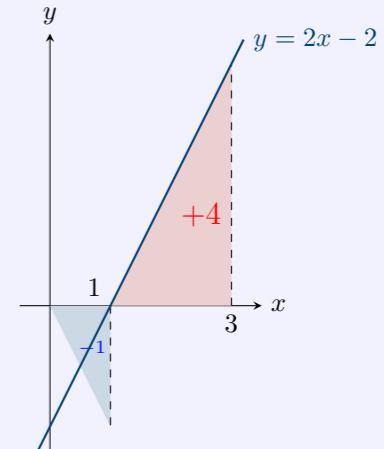
$$\int_0^3 (2x - 2) dx$$

解答

$$\begin{aligned} \int_0^3 (2x - 2) dx &= [x^2 - 2x]_0^3 \\ &= (3^2 - 2 \cdot 3) - (0^2 - 2 \cdot 0) \\ &= 9 - 6 = 3 \end{aligned}$$

図形的意味：

グラフ  $y = 2x - 2$  は  $x = 1$  で  $x$  軸と交わる。  
→ 定積分は「上 - 下」の相殺した面積を表している。



#### 面積を求めるためには

以上を踏まえて、グラフと  $x$  軸で囲まれた箇所の面積を求めるためには、「マイナスの場所はマイナス倍」して足し合わせれば良い。

#### 例題 3

曲線  $y = 2x - 2$  と  $x$  軸、および直線  $x = 0, x = 3$  で囲まれた部分の面積  $S$  を求めよ。

解答

関数  $f(x) = 2x - 2$  は、

区間  $0 \leq x \leq 1$  において  $f(x) \leq 0$ ,  $1 \leq x \leq 3$  において  $f(x) \geq 0$

であるから、

$$\begin{aligned} S &= \underbrace{-\int_0^1 (2x - 2) dx}_{\text{マイナス倍して面積を + に}} + \int_1^3 (2x - 2) dx \\ &= 1 + 4 = 5. \end{aligned}$$

## 練習 1

次の定積分の値を計算せよ.

$$\int_0^2 (-3x^2) dx$$

Memo / Answer

## 練習 3

曲線  $y = x^2 - 1$  と  $x$  軸, および直線  $x = 0, x = 2$  で囲まれた部分の面積  $S$  を求めよ. ヒント: グラフを描いて, プラスの区間とマイナスの区間を確認しよう.

Memo / Answer

## 練習 2

次の定積分を計算せよ.

$$\int_0^2 (x^2 - 1) dx$$

Memo / Answer

## 2. 定積分の性質①：足し算と定数倍

定積分は「足し算（シグマ）」の親戚であるため、以下の性質が成り立つ。

### 定積分の線形性

$k, l$  を定数とするとき

$$(1) \int_a^b kf(x) dx = k \int_a^b f(x) dx \quad (\text{係数は外に出せる})$$

$$(2) \int_a^b \{f(x) \pm g(x)\} dx = \int_a^b f(x) dx \pm \int_a^b g(x) dx$$

つまり、中身を合体・分割してよい。

#### 例題 1：合体してから計算

$$\int_1^2 (2x^2 + 3x) dx - \int_1^2 x^2 dx$$

解答積分区間が  $[1, 2]$  で同じなので、中身を先に計算する。

$$\begin{aligned} (\text{与式}) &= \int_1^2 \{(2x^2 + 3x) - x^2\} dx = \int_1^2 (x^2 + 3x) dx \\ &= \left[ \frac{x^3}{3} + \frac{3}{2}x^2 \right]_1^2 = \left( \frac{8}{3} + 6 \right) - \left( \frac{1}{3} + \frac{3}{2} \right) \\ &= \frac{7}{3} + \frac{9}{2} = \frac{41}{6} \end{aligned}$$

## 3. 定積分の性質②：区間の操作

### 端点に関する性質

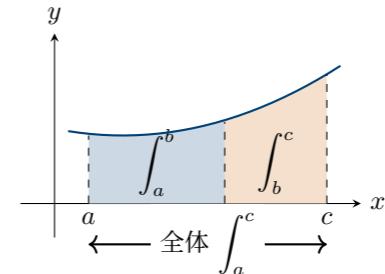
$$(1) \int_a^a f(x) dx = 0 \quad (\text{幅が } 0 \text{ なら面積も } 0)$$

$$(2) \int_b^a f(x) dx = - \int_a^b f(x) dx \quad (\text{逆走すると符号反転})$$

### 重要：区間の連結

「 $a$  から  $c$  までの面積」は、途中の  $b$  で分割して足してもよい。

$$\int_a^c f(x) dx = \int_a^b f(x) dx + \int_b^c f(x) dx$$



#### 例題 2：区間をつなぐ

次を計算せよ。

$$\int_1^2 (x^2 + 1) dx + \int_2^3 (x^2 + 1) dx$$

解答中身が同じ関数なので、積分区間  $[1, 2]$  と  $[2, 3]$  を連結できる。

$$\begin{aligned} (\text{与式}) &= \int_1^3 (x^2 + 1) dx \\ &= \left[ \frac{x^3}{3} + x \right]_1^3 \\ &= \left( \frac{27}{3} + 3 \right) - \left( \frac{1}{3} + 1 \right) \\ &= 12 - \frac{4}{3} = \frac{32}{3} \end{aligned}$$

## 確認テスト

## 練習 A

次の定積分を求めよ。

$$(1) \int_{-1}^2 (x^2 - 4x) dx + \int_{-1}^2 (2x^2 + 4x) dx$$

$$(2) \int_0^1 (x^2 + x) dx + \int_1^2 (x^2 + x) dx$$

$$(3) \int_1^3 (x^2 - 2x) dx - \int_2^3 (x^2 - 2x) dx$$

Memo / Answer

## 練習 B

以下の定積分を、性質をうまく利用して計算せよ。

$$(1) \int_1^3 (x^2 + 2x + 3) dx - \int_1^3 (2x + 1) dx$$

$$(2) \int_{-1}^0 (x^3 + 1) dx + \int_0^2 (x^3 + 1) dx$$

Memo / Answer